

Ⅰ 実施期日・会場・意見交換テーマ・参加人数

実施日時	会場	意見交換テーマ	参加人数	
			出席議員数	参加者数
令和7年11月15日(土) 午後1時40分～2時40分	議会第1委員会室	『防災について』 『地域交通について』	7人	18人
	議会第2委員会室	『ごみ問題について』 『教育環境について(スポーツ含む)』	8人	10人
	議会第3委員会室	『子育て環境について』 『各種検診について』	7人	11人
	議会第4委員会室	『雨水対策について』 『企業誘致について』 『水産業について』	7人	1人
	4か所		29人	40人

2 主な提言・要望等

会場	意見交換テーマ	Q： 提案、要望、質疑 A： 議会報告会での回答
議会 第1委員会室	防災について	<p>Q： 消防団の連絡手段 以前は防災行政無線を通じて消防団員へ火災発生が知らされたが、現行はメール配信に変更された。LINE等の活用も検討してほしい。</p> <p>A： 消防署統合により従来の無線システムが連携できなくなったため変更となった。今いただいたご意見は議会の中でも同様の議論がなされているところである。</p>
		<p>Q： 防災行政無線 防災行政無線が聞き取りにくい。防災ラジオと防災行政無線と連動させる事ができないのか。 防災行政無線は風向きなどの影響もあり、単純に多く設置したからといって聞こえやすくなるというものではない。石巻市は他にLINEやメール、SNSなど複数の発信をしているため、受け手の皆さんがその時に選べる情報取得手段を活用してほしいという考えを持っている。防災ラジオはJアラートのようなものでなければ割り込み放送できないという契約になっており、防災行政無線との連動はこれまで議会で議論されているものの、現在もラジオ局と協議中である。今年の夏から防災行政無線の放送内容を電話で確認できるフリーダイヤル（0570-666-018）が新設されたことから、その番号を紹介した。</p> <p>A：</p>
		<p>Q： 災害時の情報伝達 スマホに不慣れな高齢者への強制力のある普及策が必要ではないか。</p> <p>A： 石巻市としても携帯電話事業社の協力を得てスマホ教室を開催している。</p>
		<p>災害時の避難</p> <p>Q： 徒歩が原則ということはわかるが、現実には周囲に高台が無く、車で避難せざるを得ない方もいる。渋滞が発生などする問題もあり、車両の避難先に稲井小・中学校を確保するなどの対応が必要ではないか。</p> <p>A： 稲井小学校・中学校の開放についてはこれまで議会でも議論がなされている。地域防災計画は市全体を対象とした計画であり、原則徒歩避難という考えは統一せざるを得ないが、もっと単位を狭くした地区ごとになれば実情が異なることも事実。現在は渡波地区での避難計画作成に向けて現地視察・議論が進められている真っ最中である。</p>

会場	意見交換テーマ	<p>Q： 提案、要望、質疑 A： 議会報告会での回答</p>
議会 第1委員会室	防災について	<p>Q： 街路灯の設置と防犯 通学路が暗く、安全確保のために街路灯を増設してほしい。</p> <p>街路灯の設置については市の規定で基準が定められている。基準以外の設置は地区での防犯灯という扱いとなるが、数年前に防犯灯の新設及び電気料金への補助金が新設されたので地域としても対応しやすくなっている。（発言者は中学生であったことから）実際に通学路を使用している方たちの意見は重要であり、学校やPTAなどを通じて地域に働きかけてみてはどうか。中学生のうちにそういう経験をすることは人間形成の観点からも素晴らしいことである。</p> <p>A：</p> <p>Q： 熊対策について 市はどのような対応をしているのか。クマに対する予算はあるのか。</p> <p>石巻市ではニホンジカ対策費用はあるものの熊に特化した対策予算は無い。石巻市でも他自治体と同様に対策に頭を悩ませており、現在は目撃情報等を速やかに市民へ発信するに留まる。誤報でも小学校の集団下校など多方面に影響が出るため、目撃情報を連絡する際は、可能であればスマートフォンで写真を撮影し、正確な情報を提供してほしい。</p> <p>A：</p>
	地域交通について	<p>交通手段の課題</p> <p>Q： 就労を目指す障害者や高齢者などが目的地に行くための交通手段がないため、デマンドタクシーの充実などへの取り組みを進めてほしい。</p> <p>市も公共交通の課題には頭を悩ませており、様々なご意見をいただいている。デマンドタクシー導入やバス路線見直しを含めて検討している段階であるが、議会も地域交通に特化した特別委員会を設置して検討を進めていることから、当該特別委員会へ今のご意見を伝えていく。</p> <p>A：</p> <p>アクティブモビリティ</p> <p>Q： 車社会から脱却し、徒歩や自転車での移動（アクティブモビリティ）を中心とした街づくりを進めるべきという議会での議論はないか。</p> <p>A： 健康増進の観点から、歩くことについて議論がなされ、健康ポイントや健康アプリといった議論は議会でも行われたことがあったが、公共交通の観点で自転車や徒歩が議論されてはいない。</p>
	その他	<p>議員はまちづくり懇談会と共に地域の課題解決に取り組んでいると話があったが、私の住んでいる町内会や民生委員は機能していないので、市民は要望を伝える機会が無い。議会報告会の案内も町内会長などに出して、こういう場に出席してもらった方がいい。</p> <p>まちづくり懇談会自体が全地域で行われているものではないため、全議員が同様に活動しているわけではない。議会報告会は、各議員がチラシを配付したり、SNSで周知したりと個別に工夫して案内をしている現状にあるが、今いただいたご意見は広報公聴委員会へ伝えていく。</p>

会場	意見交換テーマ	<p>Q： 提案、要望、質疑 A： 議会報告会での回答</p>
<p>議会 第2委員会室</p>	<p>ごみ問題について</p>	<p>Q： ゴミ問題について取り組みを伺う。 ゴミの問題については市民生活部の中に環境課などが所管している。 A： 来年度より石巻市ではプラスチック分別回収を実施予定。順次地域ごとに説明会が開催される予定であり、リサイクルを市民の皆様にもご協力いただきたい。 東松島市と女川町とで広域行政事務組合という組織の元、クリーンセンターを運営しており、老朽化により建て替えの検討に入っているが、設置場所や型式については検討している最中。</p>
		<p>Q： 焼却炉の処理能力は足りているのか伺う。 処理能力は間に合っている。 A： 人口減少もあり、ゴミの量も少なくなっているが、焼却炉老朽化と劣化が進行しているため対策が必要となっている現状。</p>
		<p>Q： 生ゴミ減量に対する取り組みを伺う。 A： コンポストは上限3,000円、EM発酵機は上限2,000円、電気式生ごみ処理機は50,000円以上の購入に対し、50%若しくは上限25,000円の補助金を出している。今年度は補助金上限額に達して受付を行っていない。</p>
		<p>Q： プラスチックゴミ分別の進捗。 現在は石巻市とプラスチックをリサイクルする事業者と事業方針を協議中。 A： 今後はモデル地区を設定して先行して分別回収事業を開始する。 その後に課題を抽出し、改善策を踏まえてブラッシュアップした形で住民説明会を各地区で行う。 10月には市内全区域で事業開始。</p>
		<p>Q： 雑草についての取り組みを伺う。 市道に関しては自治会や団体に対して清掃活動や除草活動を行うことで距離に応じて補助を行っている。 A： 市のみならず県とも連携して除草作業に当たっているが、渡波や大街道などは特に空き地も多く今年に関しては要望が多くなっている。 市有地であれば回数を増やして対応しているが、私有地の空き地は持ち主の方へお手紙を出して8割ほどは対応してくれるが、残りの2割に関しては連絡がつかなかったり、対応していただけない実態がある。その2割に対して市が対応する予算も権限もないため、空き地問題や空き家問題は市としても課題として捉えている。現在は明確な打開策を見出すまで至っておらず、自助、共助、公助の体制で今後も課題に当たっていくしかない。</p>

会場	意見交換テーマ	Q： 提案、要望、質疑 A： 議会報告会での回答
議会 第2委員会室	ごみ問題について	<p>Q： 河南町のバイオマスについて 現在は事業者が宮城県に許可申請を出している状況。 この開発許可申請自体は要件を満たしていれば基本的に許可は通ることになっている。 A： 許可が出た後に教育委員会が埋蔵文化財調査を行う必要があり、石巻市が国の補助を受けながら約1億円の費用を複数年かけて発掘作業を行わなければならない。 石巻市としては住民の意向を汲んでおらず、大型トレーラーの通行など市との協議が終わっていない状況で、許可申請などが進んでいることに遺憾の意を表明している。</p>
		<p>Q： ゴミ集積ボックスについて。ゴミ箱を統一することはできないのか？ 市が同じようなゴミ箱を統一し設置する場合には入札事業となるため、費用は割高になると考えられるし、場所によって求められる形状が違うので統一する案は難しい。 A： 現在石巻市としてはゴミ回収ボックス及び折りたたみ式の対して補助を行なっている。 昨年度まではBOX型で88,000円、折りたたみ型が27,000円の補助上限額であったが、今年度より増額をして1町内会につき10万円の上限額となっている。</p>
	教育環境について (スポーツ含む)	<p>Q： 陸上競技場について A： 震災前は女川町に公認記録取れる第3種陸上競技場があったが被災して現在は復興公営住宅が建設されている。石巻圏域には公認記録が取れる陸上競技場がなく、地区大会は仙台市等で開催されている状況。 令和元年にPTA等5団体から整備要望書が提出されて市議会での協議をおこなっているが、来月の12月議会定例会には概算の予算が示される予定である。</p>
		<p>Q： スポーツ推進委員について 女川町や東松島市に比べて行事などに参加するスポーツ推進委員が少ないのはなぜなのか？ A： それぞれの町内会からスポーツ推進委員を出してもらっているが、担い手不足の問題もあり、町内会長や行政委員が兼任していることが多い。</p>
議会 第3委員会室	各種検診について	<p>補聴器購入費への支援について Q： 加齢性難聴に保険が効かず、補聴器は高額（約50万円）。近隣自治体（東松島市）では補助あり。石巻でも早急に導入を。</p>
		<p>A： 加齢性難聴者への補聴器補助制度創設を求める請願は 委員会として全会一致で採択済み。 認知症予防の観点からも重要であり、引き続き市へ導入を強く求めていく。</p>
		<p>Q： がん検診（特に胃がん検診）の受診しづらさ改善について バリウム検査の動作指示が早く、耳の悪い高齢者は対応が難しい。「怒られそう」「怖い」と受診を控える傾向。</p>

会場	意見交換テーマ	Q：提案、要望、質疑 A：議会報告会での回答
議会 第3委員会室	各種検診について	A：受診率は対象者の1割未満と深刻。 委託先医療機関に対し、丁寧な対応・高齢者配慮の徹底を要請する。
		Q：市立病院の整形外科受診について 予約制が壁になり、転倒など緊急の怪我でも断られる例がある。 対応・説明が不十分だと感じる。 A：医師確保は課題だが、初診受入れ体制の改善を病院局に申し入れる。 患者の不安を軽減し、サービス向上を促す。
診療連携（内科⇔他科）への改善要望 Q：症状を訴えても経過観察のみ。 紹介状がすぐに出ず結果的に重症化した例があり不安。 A：医師間連携の強化と、分かりやすい説明体制を要望する。 個別意見も病院局へ共有し改善につなげる。		
	その他	Q：歩道整備の改善要望（山下一丁目・二丁目） 歩道の傾斜が強く、歩行補助具の利用者に危険。散歩すらためらわれる。 A：地域要望として町内会と連携し、道路管理部門へ正式に改善要望を提起する。
議会 第4委員会室	その他	Q：災害時（地震、津波等）の避難について 陸間の役割について伺います。 A：陸間については自動で閉まる仕組みとなっている。津波から守るという意味で大切である。今回、車両が逃げられずに、陸間内に閉じ込められてしまったとの話もあった。今回の状況を受けて、まずは、命を守ることが第一優先ということでご理解いただきたい。
		Q：カムチャツカ沖の地震で、渡波から稲井へ向かうトンネルから道路に向けて渋滞が起きた。避難誘導について今後どのように対策を進めて行くのか。 A：津波対策協議会が今後開かれて対策を地域ごとで講じていく事になります。地域ごとに課題が違いますので、協議会で話し合いを行っていく事になります。
		Q：避難誘導の看板などを設置してはどうか。 A：11月13日の津波対策協議会で、看板や横断幕の設置を行う計画となっています。
		Q：防災マップやチラシなどの配布がいいのではないかと思います。 A：議会としても執行部に提案している所です。また、避難について、子どもから大人への声掛けなどの仕掛けづくりも必要であると考えています。
		Q：渡波の鹿松地区の一部で土砂崩れがありましたが、その際の対応はどのようにすればいいのでしょうか。 A：まずは、市役所の危機管理部へ通報をしていただきたいと思います。